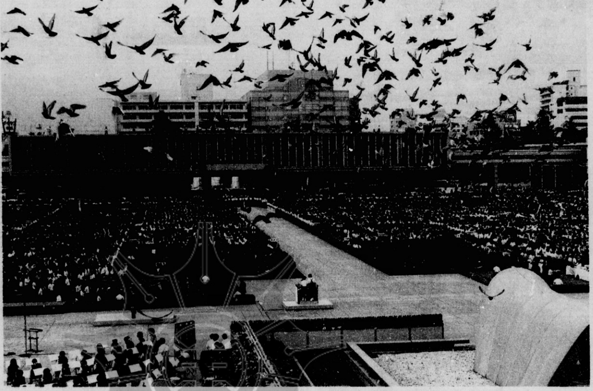
中國新聞
発行所　広島市中区土橋町7番1号　郵便番号730
中国新聞社
電話（082）236-2111（受付案内台）
郵便振替口座　01370-0-57
© 中国新聞社　1997

「核の傘」頼らぬ平和構築

広島被爆52周年祈念式　平岡市長が平和宣言


平和のシンボルのハトが飛び立つ中で、「核なき世界」の実現を誓う原爆死没者慰霊式・平和祈念式
（6日午前8時25分、広島市中区の平和記念公園）

安保政策転換訴え

五十二回目の「原爆の日」の六日。広島は鎮魂と平和への祈りに包まれた。戦禍を重ねた今世紀を総括すべき時を迎えながら、米国が臨界前核実験を強行するなど、ヒロシマの悲願の「核なき世界」への道筋は、依然おぼろである。平岡敬広島市長は、平和宣言で「核兵器こそは、あらゆる暴力の頂点に位置するもの」とあらためて強調。日本政府に対し、初めて日米安保体制下の「核の傘」からの脱却を求めた。（夕刊一部既報）

広島市中区の平和記念公園で営まれた原爆死没者慰霊式・平和祈念式には、約四万五千人が参列した。原爆投下時刻の午前八時十五分。「平和の鐘」を合図に黙とうし、平岡市長が平和宣言に立った。

「核兵器が今なお地球上から消え去っていないことに、強い憤りを覚えるとともに、文明の未来に大きな不安を持つ」と、被爆地の心情を吐露。参列の橋本龍太郎首相や伊藤宗一郎衆院議長らが見守る中、「『核の傘』に頼らない安全保障体制構築の努力を」と、平和政策の転換を訴えた。

さらに、平和宣言の中で市長は「広島の体験が再生の過程で生み出した平和の文化は、人類の希望の灯である」と唱えた。二人の子ども代表は「世界遺産になった原爆ドームの大切さを知り、核兵器の恐ろしさ伝えていきます」と、「平和への誓い」を力強く読み上げた。

この日、原爆慰霊碑に奉納された原爆死没者名簿には、この一年間で五千七十六人が新たに記帳され、総登載者数は二十万二千百十八人となった。広島市内の被爆者健康手帳の所持者九万五千二百六十人の平均年齢は六七・三歳。昨年より〇・七歳上がり、式典参列者は約五千人減った。

被爆体験の証言者が次第に減り、「あの日」の記憶が遠のく中で、次世紀に向けてヒロシマがとるべき道は―。原爆被害を「負の遺産」として、いかに継承し、さらに「人類共有の教訓」のシンボルに高めていくための創意と努力に尽きる。

主な記事

「原爆の日」関連ニュース
（2・3・6・7・8・24・25面）
千葉真子、1万メートル「銅」（18面）
充代さんの殺害を自供（24面）
◇9面・文化「嘉村礒多の文学」

インターネット
中国新聞ホームページ
http://www.hiroshima-cdas.or.jp/chugoku-np/

香りの紅茶〈トワイニング〉アールグレイ。
TWININGS EARL GREY

周辺有事　範囲決めず

首相　日米安保の必要性強調

「核の傘」からの脱却には否定的な考えを示した橋本首相（広島市中区のホテル）

広島市の平和祈念式に参列した橋本龍太郎首相は六日、中区のホテルで記者会見し、平岡敬市長が平和宣言で求めた「『核の傘』に頼らない安全保障体制」に否定的な考えを示した。日米防衛協力の指針見直しでは、「日本周辺有事」の対象範囲を明確にしない方針を明らかにした。

橋本首相は「被爆地の気持ちは理解できる」としながらも、「アジア太平洋地域には不安定要素もある。日米安保体制は必要」と強調した。米国の臨界前核実験については、重ねて「包括的核実験禁止条約で禁止されていない行動に抗議する気持ちはない」と述べた。

広島市が施設の賃貸方式を検討している放射線影響研究所（広島市南区）の移転問題では「積極的に協議し、実現へ努力したい」と前向きな姿勢を示した。

「周辺有事」の対象範囲については、「地図の上に線を引いて、ここからここまでは問題ない、という言い方はできない」と、具体的に設定しない考えを明らかにした。

254人乗り大韓機墜落

邦人少女ら27人生存

グアム当局確認

松田　利可さん

【ワシントン6日共同】ソウル発グアム行き大韓航空801便ボーイング747（乗員乗客二百五十四人）が、現地時間の六日午前二時すぎ（日本時間同日午前一時すぎ）、グアム島中部の国際空港に着陸直前、南西に約五キロ離れた丘陵地帯に墜落、炎上した。【5・25面に関連記事】

グアム行政当局者は、死者は二百人を超えると述べた。グアム知事室スポークスマンによると、現地時間の六日午後九時（日本時間同午後八時）現在、二十七人が生存しており、七十二人の死亡を確認した。一方、大韓航空事故対策本部は、生存者数を乗務員四人を含む二十九人としている。

当局は、事故原因の究明と死者の身元確認に全力を挙げている。

外務省によると、静岡県三島市の松田利可さん（一二）＝中郷小五年＝が唇にけがをして病院に収容された。母親の趙成女さん（四四）＝韓国人＝の安否は不明。

大韓航空が発表した乗客名簿には、松田さん以外に日本人らしい名前は見当たらなかった。生存者の多くは、炎上しなかった後部座席に座っていた。

在グアムの米海軍当局者によると、同機のフライトレコーダーが見つかり、ホノルルの米連邦航空局（FAA）に送られた。米運輸安全委員会（NTSB）は、ブラックボックスが既に回収されたことを明らかにしており、FAAなどと協力して原因の解明を急ぐ。

韓国政府は事故調査団や医療チーム、乗客の家族らを乗せた特別機をグアムに派遣した。

事故当時は、激しい雨が降り視界約一・六キロという悪条件。NTSBは、着陸の降下角度を地上から誘導する「グライドパス」と呼ばれるシステムが作動していなかった、と指摘した。

◇お断り　「きょうの天気」は2面に移しました。

天風録

あの日から五十二年。被爆者が老いゆく中で、ヒロシマの風化を食い止めようとする多様な取り組みがある。女優・吉永小百合さんの原爆詩の朗読行脚もその一つだ▲吉永さんと原爆の出合いは三十一年前。大江健三郎さんの「ヒロシマ・ノート」で紹介されている実話を映画化した「愛と死の記録」に出演した時からである。その年、一夏を広島で過ごし、被爆者と交わったことが、「忘れられない体験」になった▲決定的になったのが十一年前の原爆詩の朗読。ある集会で依頼され、「ヒロシマの空」（林幸子）と「慟哭」（大平数子）を読んで激しく突き動かされた。以後、原爆詩の収集を始めるとともに、手弁当で朗読行脚に出かけるようになった。もちろん、広島にも度々やってきている▲対象はいつも戦争を知らない世代。会場も小さい。「目と目を合わせ、息づかいを感じてほしい」からだ。今夏、行脚の集大成であるCDを出し、お披露目の朗読会が先月、広島であった。希望者は四千人を超したが、席は三百に限定した▲終了後、控室で会った。「被爆者でもない私がこんな表舞台に出て…」と目を伏せた。CDをマスコミが大きく取り上げたからだ。確かに、ひっそりと語り続ける吉永流とは少々趣が違う。風化に対する危機意識が、「何かの形で残す」ことにつながったようだ▲でも、朗読の旅はずっと続けたい―吉永さんはそうも言っていた。きのう六日、吉永さんは東京の教会の小さな礼拝堂に出向いた。いつものように原爆詩を朗読するためである。

広島の団地用交通　スカイレール工事

ゴンドラ激突2人死亡

急坂　制動利かず

7人けが

岩重　積さん

谷岡静馬さん

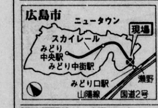
六日午前九時半ごろ、広島市安芸区瀬野一丁目、JR山陽線瀬野駅北側の大規模住宅団地を結ぶ短距離交通システム「スカイレール」の建設現場で、四人が乗った作業用ゴンドラが高架軌道を約三百メートル暴走、瀬野駅に隣接する「みどり口駅」の近くで、クレーンでつるした作業用の鉄製かご（縦二メートル、横一メートル、高さ一・五メートル）に激突した後、駅舎内に突っ込んだ。（夕刊一部既報）【4面に関連記事】

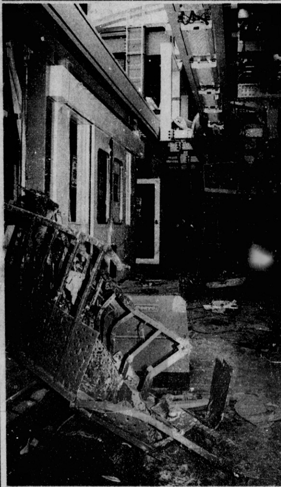
作業用かごにいた光和製作所（広島市安佐北区可部七丁目）の岩重積さん（五三）＝同区落合南二丁目＝と、谷岡静馬さん（五三）＝同区安佐町あさひが丘＝の二人が頭などを強く打って死亡、ゴンドラに乗っていた四人と、駅舎内で作業中の三人の計七人が重軽傷を負った。ゴンドラは軌道の電気配線などの作業中で、死亡した二人は軌道の補修作業をしていたという。

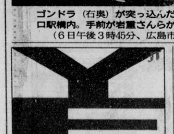
広島県警捜査一課や海田署の調べでは、暴走を始めた地点から駅舎にかけては最もこう配がきつく、斜度一五度。六日は急傾斜地で行う初の作業で、急こう配になる手前でワイヤを掛ける安全対策を取る予定だった。作業担当者は「ワイヤを掛ける前に速度が上がり、ブレーキも利かなかった」と証言している。捜査一課などはブレーキ異常の疑いもあるとみて、業務上過失致死傷の疑いで工事関係者から事情を聴いている。

スカイレールは全長一・三キロ。ゴンドラは三両編成の全長一四・五メートル、幅二・四メートル、定員五人、重さ約七トンで、発電機でモーターを動かし、軌道に接した車輪を回す仕組み。因島市の会社が今回の工事専用に二台製作、七月二十一日から、上下線で各一台を電気配線の工事などに使っていた。

スカイレールは九月から試運転をし、来年四月の開業を目指していた。




ゴンドラ（右奥）が突っ込んだスカイレールみどり口駅構内。手前が岩重さんらが乗っていた鉄製かご
（6日午後3時45分、広島市安芸区瀬野1丁目）


YES
250円
未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう

Small Garden Handbook
日陰の庭のシェードガーデニング　奥峰子
定価・本体1,600円（税別）発売中！
文化出版局

ミセス　9月号発売！
September 1997 No.511
定価950円（税込）
文化出版局
〈特集〉変わる大阪
未来が見える街
もう行かはった？　キタのクラシックなホテル。
楽しなってきたね、心斎橋の辺り。
イタリアが旬、ですねん。
井上荒野さんが歩く宮本輝の"河"の世界。
●ファッション・美容
この秋は、新しいクラシック
スタイリッシュな街着
その"輝き"の秘密をお聞かせください
〈ビューティインタビュー〉山本容子さん／安藤和津さん／伊藤和枝さん
メーキャップの基本レッスン
●連載
「生きるヒント5」五木寛之
〈連載小説〉ストーリーズ・ワンス・モア　玉岡かおる
広田靚子／筑紫哲也
森まゆみ／原田美枝子
表紙の人：若村麻由美さん
〈特集〉ホルトハウス房子さんの「季節を食べる」
露地の野菜、近海の魚介……。あふれる旬のおいしさを楽しんでいますか。素材優先、料理はますますシンプルに。
●料理・リビング・読み物
北京的中午餐　ランチにいかが、北京の家庭の点心。
ダイニングテーブルと椅子
縦型、横型、二世帯住宅
おいしい東京みやげ　いただいても贈ってもうれしい味の数々。
台所のモノを見直す　ホームエコノミスト若村育子さんと考える暮しの周辺。

暮しの設計　No.232
横浜中華街
味と技の活用レッスン集
お店と全く同じ味とはいかないが、かぎりなく近い味を再現。家庭で中華街の名菜を楽しむ
本日発売　定価本体1,900円＋税

幽明との境界が――破れている。そこから夜が染みてくる
嗤う伊右衛門
京極夏彦
忽ち15万部突破
定価本体1,900円＋税
中央公論社

〒104 東京都中央区京橋2-8-7 中央公論社
おかげさまで創刊1000号
婦人公論　9月号　定価660円（税込）
特集　女に生まれてよかった
「女だてら」が私の自然体　吉行あぐり
鏡を見なければ年をとるのは楽しい　山根基世
男の子になりたかった私　高泉淳子
だから女はやめられない　林真理子
至福のひととき
ケーキの甘い誘惑（ルポ）
路上ショッピングの楽しみ（イラストエッセイ）
ホテルエステの快楽（体験ルポ）
女の醍醐味って何？〈対談〉中野翠　山田詠美
わが妻は日本一幸せな女です　鈴木光司
女が見えてくるブックガイド〈選者〉鹿田恵子／和久本みさ子／斉藤由貴／井田真木子／辻邦生
読者体験手記　私のヰタ・セクスアリス
●他の男も知りたくて、夫と結んだ浮気協定
●垣間見た父母の営みが私を駆りたてる
●思春期の痔疾に恋を阻まれて
新連載　津川雅彦の男子御職　小林桂樹　努力役者56年
西村京太郎「雪国」殺人事件
真琴つばさ・姿月あさと〈宝塚月組トップ対談〉
正心調息法で95歳大元気〈対談〉塩谷信男
宮本美智子さん、短くも美しく燃え〈追悼〉玉村豊男
創刊1000号特別企画
『婦人公論』と私
田中澄江／吉沢久子／瀬戸内寂聴／森英恵
宮尾登美子／津村節子／澤地久枝／吉武輝子／三枝佐枝子
女の世紀を開いた名論文
「婦人も参政権を要求す」与謝野晶子（大正7年3月号）
「主婦という第二職業論」石垣綾子（昭和30年2月号）
「妻無用論」梅棹忠夫（昭和34年6月号）